

改正建築基準法事前チェックシート

＜申請者の皆様へ＞ このチェックシートは一宮市が構造審査をするに当たって、最低限チェックすべき事項をまとめたものです。申請時の参考としてください。(□にレ印を記入の上(該当がない場合は□全体に×を記入)、申請書に添付する。)<一宮市建築指導課>

●申請書図面

<input type="checkbox"/>	意匠図・構造図・設備図・構造計算書相互の整合性をチェックしたか。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	建築基準法施行規則に定められている図書が添付されていることを確認したか。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	構造計算を行ったものは構造安全証明書を添付しているか。また証明書と設計図書の整合は取られているか。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	構造計算適合性判定を要する場合は副本を2部添付しているか。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	構造図に構造設計者の記名・押印がしてあるか。(申請書2面に構造図の作成者として記載してある場合)	<input type="checkbox"/>

構造計算を要する物件のチェックリスト

●構造図(RC・S・杭はそれぞれ該当する場合に記入)

<input type="checkbox"/>	構造基準図・標準図(材料規格(鋼材、コンクリート種別、杭の種類・支持力、標準納まり、溶接基準図)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	認定 認定工法の場合は標準図(認定柱脚・合成デッキ等)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	使用材料一覧	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	RC 施工方法等計画書(強度試験方法、調合・養生方法、型枠の存置期間・方法)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	基礎・地盤説明書(柱状図に基礎・杭位置、杭支持力、最大地反力記入)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	杭 施工方法等計画書(打撃等の基礎杭の場合)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	各階伏図(小屋伏図含む)(梁、柱、床符号、床レベル、床デッキ方向、壁形状・位置、木造の場合は金物種類)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	基礎伏図・基礎リスト(敷地境界線を記入する。)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	2面以上の軸組図(S造の場合もRC基礎梁を記入すること)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	S 構造詳細図(圧縮材(S(木造も)柱・ブレース)有効細長比)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	RC 構造詳細図(鉄筋配置、径、継手、定着、かぶり厚さ)	<input type="checkbox"/>

●構造計算書

<input type="checkbox"/>	構造計算概要書を最終的に見直したか。→参照項など内容に相違が多い場合不適合になり得ます。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	① 全体のモデル化の妥当性はよいか。(山形ラーメン、吹抜け等のある場合に剛床解除が必要)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	② S造: 計算の方法は妥当か。◎露出柱脚はバネを考慮しているか。◎ルート1-2、2において幅厚比FBIは使用不可	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	③ X方向、Y方向、Z方向の寸法(スパン・構造高さ)は図面と合っているか?	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	④ 小梁の数・向き、壁開口の状態を計算書出力で確認しているか。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	⑤ 片持ち梁、片持ち床、雑壁、パラペット、特殊荷重等は入力されているか。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	⑥ 荷重(W/A: 単位面積あたり床荷重)は確認したか? ○RC(事務所)なら、10~18kN/m ² ○S(事務所)なら5(最上階)~12kN/m ² 程度 ○木造なら2~4kN/m ² 程度	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	⑦ エラー・ワーニングメッセージに対応した検討がされているか→ワーニングにはコメントを付ける。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	⑧ 保有水平耐力の設定は適切か?(Ds値はヒンジが全体に発生した状態で決定しているか。)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	⑨ (S)冷間成形角形鋼管マニュアルに沿った応力割増し・耐力低減を行っているか?	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	⑩ 2次部材の検討はしてあるか?(荷重の根拠など整理してあるか。吹上げ、雪荷重を検討しているか。)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	⑪ 局部風圧の検討はしてあるか?(屋根材及び13m超の帳壁について検討要)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	⑫ 直接基礎: 地盤の支持力は根拠があるか。隣地2m以内Df効果控除(-1.5)しているか。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	⑬ 杭基礎: 杭担当者の設計内容を確認したか。水平力、液状化の検討(GL-20m以浅、砂質、N値≤15)を行っているか。	<input type="checkbox"/>

以上チェック項目について確認しました。

所属・氏名

印※

※押印は自著の場合は不要

連絡先() -

(参考)確認申請について不適合となる事例

1. 図面、計算書の不整合が多く、適正な審査を進めることができないと判断される場合。
2. S造でルート1-1にも関わらず、X、Y方向のスパンが6m(ルート1-2の場合は12m)を超えている場合。ルート1-2.2で幅厚比FB材を使用。
3. 荷重の入力・剛床等の設定が適切でなく、再検討の結果部材が変わる場合。
4. 保有水平耐力の計算において、Dsの算定をメカニズム時で行わず、再検討の結果耐力を満足できなくなる場合。